

第14章 復旧活動の実績と課題5 ～本堂・家屋の室内清掃～

第1節 本堂・家屋の室内清掃の重要性

被災物品を屋外へ移動したら、室内清掃を実施する。室内清掃を実施することは、下記の2点において、非常に重要である。

第1 生活拠点の早期復旧

第2 寺院経営の早期再開

ここでは、平成・令和の豪雨災害時の経過を記載し、成果と課題・改善点と今後の方針を記載したい。

第2節 平成・令和の豪雨災害の復旧活動実績

第1 平成30年8月5日～

日付	時刻	箇所	人数	道具	内容・詳細
8月6日	9:30	台所	6人	ブラシ、バケツ、雑巾、ドライ	信徒・集落のご婦人の支援。
8月6日	11:07	本堂	4人	高圧洗浄機、ブラシ、ワイパー、モップ、バケツ、塵取り、雑巾	本堂内の床清掃を開始。
8月7日	10:20	渡り廊下	3人	高圧洗浄機、ブラシ、ワイパー、モップ、バケツ、塵取り、雑巾	本堂・巡礼堂渡り廊下清掃。
8月8日	9:01	台所	6人	高圧洗浄機、ブラシ、バケツ、雑巾	台所の水洗い、完了
8月8日	9:27	本堂	1人	高圧洗浄機、ブラシ、バケツ、ブルーシート、雑巾	本堂須弥壇の清掃開始
8月8日	9:41	本堂	1人	高圧洗浄機、ブラシ、バケツ、ブルーシート、雑巾	本堂須弥壇の物品、本堂の別部屋へ移動完了
8月8日	19:05	-		高圧洗浄機、ブラシ、バケツ、雑巾	本堂、須弥壇、住職執務室、台所、廊下、トイレ、巡礼堂廊下、漬物小屋床、大まかな水洗完了※巡礼堂の畳はそのまま

第2 平成30年8月30日～

日付	時刻	箇所	人数	道具	内容・詳細
8月31日	10:02	本堂	6人	高圧洗浄機、ブラシ、バケツ、ブルーシート、雑巾	本堂の床清掃を実施。セリソハウススタッフも参加
8月31日	11:09	本堂	6人	高圧洗浄機、ブラシ、バケツ、ブルーシート、雑巾	本堂の床清掃(1回目)、完了。
9月1日	10:35	台所	2人	高圧洗浄機、ブラシ、バケツ、雑巾	台所の床、清掃済みを確認。

第3 令和6年7月25日～

日付	時刻	箇所	人数	道具	内容・詳細
7月28日	12:34	トイレ・本堂・執務室	3人	高圧洗浄機、ブラシ、ワイパー、モップ、バケツ、塵取り、雑巾	
8月1日	11:31	台所・物品庫	3人	雑巾、バケツ	
8月1日	16:42	本堂	3人	高圧洗浄機 ワイパー大	室内の水の排出を促すため、床板をはいだ。
8月3日	10:01	玄関前	災害ボランティア 6人	高圧洗浄機、ブラシ、ワイパー、モップ、バケツ、塵取り、雑巾	災害ボランティア受け入れ。住職挨拶。作業開始
8月3日	10:17	巡礼堂 渡り廊下	災害ボランティア 6人	高圧洗浄機、ブラシ、ワイパー、モップ、バケツ、塵取り、雑巾	
8月3日	16:18	巡礼堂 渡り廊下	災害ボランティア 6人	高圧洗浄機、ブラシ、ワイパー、モップ、バケツ、塵取り、雑巾	清掃完了
8月7日	10:59	本堂	沼田建設	モップ、バケツ、塵取り、雑巾	

第3節 活動実績の検証 ～成果・課題・今後の方針

第1 開始時期・日程等

成果：被災後から1～2日後には、室内清掃を開始できた。

課題：境内清掃や室内の被災物品搬出が完了しないうちに清掃を開始したことで、境内の泥を清掃した室内に持ち込んでしまい、2度手間・3度手間が発生した。

方針：最初に、境内清掃や物品搬出を徹底することで、効率化を図りたい。



第2 順序・箇所

成果：3度の豪雨災害による経験により、ある程度確立することが出来た。

課題：清掃した場所に他の箇所の泥がついて、掃除に2度手間・3度手間が発生した。



方針：下記の通り。

- 1 境内清掃・物品搬出を、最初に実施する。
- 2 被災箇所奥の部屋から順に、被災物品の移動⇒室内清掃を実施する。経路は、物品搬出と同様とする。

第3 担当者の設定

成果：平成・令和の豪雨災害では、地域の方々が自主的に被災物品の搬出や洗浄を実施してくれた。

課題：効率的な被災物品の搬出や洗浄のために、作業グループを設定すべきだった。

方針：今後は、4人1組程度の作業グループを設定する。

役割	道具	人数	詳細
散水係	排水ポンプ 高压洗浄機	1名	排水ポンプや高压洗浄機で、床の泥を浮かせる。
泥落とし係	デッキブラシ	1名	デッキブラシで床を擦り、泥を落とす。
水切り係	ワイパー	1名	ワイパーで水切りを行う
水ぶき係	モップ	1名	モップで空拭きを行う。

第4 清掃道具と使用方法

成果：平成の豪雨災害時では、災害発生直後に清掃用具を調達し、対応出来た。その後、清掃用具を保管することで、平成の2度目の豪雨災害や令和の水害にでも活用することが出来た。

また、地元・御信者・仏教関係者が自主的に道具を準備してくれたことも大きかった。再利用物品を洗うための高压洗浄機などである。

課題：令和の豪雨災害では、清掃用具の事前準備を怠っていた。そのため、初動に遅れが発生した。

断水により室内清掃の開始が遅れてしまった。振り返れば、排水ポンプで河川の水を使用することで、大まかな泥については、洗い流すことができたはずである。その後、断水が復旧次第、水道水で仕上げの清掃を行う方針を打ち出せばよかった。

排水ポンプは、境内清掃で3台、室内清掃で1台必要であった。

室内清掃では、初めから真水で洗う必要はなく、まず河川を活用して、大量の水で泥を一気に押し流すべきだった。その後、仕上げ部分を真水で洗うべきであった。

床用水切りドラワイパー(特大)を、複数準備すべきだった。

デッキブラシを活用して、泥を効率的に落とすべきだった。

床を洗う際に、使用する道具と手順を設定しておくべきだった。

高压洗浄機を、事前にもう一台準備していれば、迅速な洗浄ができた。

高压洗浄機につなぐホースの選定・取水場所・蛇口を接続する金具・工具を、十分に用意していなかった。

方針：排水ポンプ及び清掃道具の事前準備・調達・保管場所・使用方法について、下記の通りとする。

道具名	数量	使用方法	保管・調達場所
排水ポンプ	4	泥を流す	(株)小松。1台は自主購入
排水ポンプ燃料	適宜	ポンプの燃料	自費・巡礼堂棚
デッキブラシ	4	泥を落とす	自費・巡礼堂棚
ワイパー大	4	泥水を押し出す	自費・巡礼堂棚
ワイパー小	8	泥水を押し出す	自費・巡礼堂棚
高压洗浄機	3	仕上げの洗浄	自費・巡礼堂棚
モップ	8	床を拭く	自費・巡礼堂棚
大型扇風機	4	床上・下への送風	自費・巡礼堂棚

第5 服装・作業着

成果：清掃作業については、適切な服装で実施できた。

課題：物品搬出や清掃作業は、汚れることが多いため、**作業着は各人複数枚準備**する必要がある。

方針：清掃作業時の服装や道具について、事前に準備をする。

第6 総括

- 1 境内清掃・物品搬出を最初に実施する。
- 2 被災箇所の奥の部屋から順に、被災物品の移動⇒室内清掃を実施する。
- 3 4人1組程度の作業グループを設定する。
- 4 排水ポンプ及び清掃道具の事前準備・調達・保管場所・使用方法について、下記の通りとする。

道具名	数量	使用方法	保管・調達場所
排水ポンプ	3	泥を流す	(株)小松
排水ポンプ燃料	適宜	ポンプの燃料	巡礼堂棚
デッキブラシ	4	泥を落とす	巡礼堂棚
ワイパー大	4	泥水を押し出す	巡礼堂棚
ワイパー小	8	泥水を押し出す	巡礼堂棚
高压洗浄機	3	仕上げの洗浄	巡礼堂棚
モップ	8	床を拭く	巡礼堂棚
大型扇風機	4	床上・下への送風	巡礼堂棚

- 5 服装・作業着・長靴・胴長・軍手・ヘルメット等の服装を整備する。